

ENGAWA

まちの縁が輪

縁奏会

ヒトコトモノトキ



築 130 年の古民家は、「復元」という形で守られている。縁側に腰かけ、空を見上げると昨日までの雨がうそのように青空が広がっていた。

縁側を体感する！

「古民家で縁側体験！地域のご隠居さんからお話を聞こう」と題して行われた縁奏会。近所さんから市外の方まで総勢 25 名が金丸さん宅に集まりました。

『ヒト・コト・モノ・トキ』から、まちの縁側を丸ごと感じる事ができた会になりました。

かわらばん

まちえんながの

第 14 号

7 月 1 日(月)

発行

まちの縁側育み
プロジェクトながの

長野市ボランティア
センター内

TEL 227-3707

FAX 224-1513

まちの
縁側
ENGAWA



奥さん手作りの炊きこみおこわのおむすび、懐かしい味がした。持ち寄った漬物で机の上はいっぱいになった。縁側に漬物あり？

縁側から
縁が輪に

戦争体験を交えながら、跡継ぎとして専業農家になり、神楽を復活させた地域への思いや、保護司の経験から人と向き合って生きることなど金丸さんのお聞きしました。そのあと、屋根裏部屋へ。130 年の歴史深き家は、人の手によって、その姿を保っています。お茶タイムでは、みんなでワイワイガヤガヤ・・・ここで初めてあった人同士がいつの間にか知り合っていて、話が盛り上がる、「縁が輪」になるときです。そんな人々の談笑を家が静かに包み込みます。

「こういう話をするところが縁側だ！」と、参加者の久保田さん。ヒトコトモノが奏でられた一時でした。



地域の宝、金丸正夫さん(九二才)まだまだ現役！いろんな人が相談に来る。笑顔がとってもチャーミングな奥様は、金丸さんをずっと支え続けていた。娘さんは、近くで畑の縁側を開いている。ラズベリーが最盛期。花をしつらえておもてなしをする心があつたかい。



南北に開け放たれた窓は風の通り道。夏でも涼しく心地いい。



大切なことはいつの時代もかわらないんだなあ、縁側人に出会ったひに同じ思いになる・・・

いよいよ今月から長野市民新聞で月 2 回まちの縁側を紹介する連載

まちの縁側さん(仮称)がはじまりますよー！金丸さん宅も紹介予定です。

お楽しみに〜



連絡先
026) 227 3707
(担当 西沢)
vc106@vnetnagano.or.jp